

オンラインコンテンツ による 情報リテラシー教育 を模索する

日時：令和3年2月16日(火) 13時～15時30分

Zoom ウェビナーによるオンライン形式

2020年は新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大に伴い、多くの大学図書館で臨時休館やサービスの一部中止、新たな非来館型サービスの提供など、今まで経験したことのなかった事態が起きました。特に、新学期当初に大学および図書館に来られない学生に対し、遠隔形式での情報リテラシー教育の実施や、その検討をした図書館も多かったのではないのでしょうか。

状況は日々変化しており、未だ収束の見通しは不明ですが、このたび日本の大学の多くが遠隔授業を経験したことは、遠隔型の利用者サービスを見つめ直す契機であったとも言えます。

そこで、現在の大学教育の情勢を理解するとともに、今年度オンラインによる講習会等を実施した図書館から事例報告をいただき、各館で情報共有を行うことで、今後の図書館業務に活かすことを目的として本講演会を実施します。

プログラム

基調講演 京都教育大学数学科教授 黒田 恭史 氏

「京都教育大学のオンライン授業およびオンラインコンテンツ作成の動向
～教員・学生はこの時代にどう対応しているか～」

事例報告

- ① 大阪大学附属図書館 藤江雄太郎 氏
- ② 茨城大学図書館 大内 優香 氏
- ③ 兵庫教育大学附属図書館 永井 一樹 氏

申込方法

申込フォームよりお申し込みください。



京都教育大学附属図書館 URL:

<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/2021/01/R2-chikujigyo.html>

締切：令和3年2月5日(金)

定員：約50名

申込者多数の場合、近畿地区協会会員館の職員を優先させていただきます。